



くすりと健康

一般社団法人
神戸市薬剤師会

コンプライアンスと アドヒアランス

さまざまな病気や症状に合わせて医師が処方箋を書いて、薬物治療が始まります。病気を治すために処方された薬は、その用法用量を守って、正しく服用することが治療の近道です。

薬の用法がきちんと守られていることを「コンプライアンスが良い」と言います。

私たち薬剤師は、処方箋に書かれた通りに薬を調剤して、正しく使っていたりするために、説明をしてから薬をお渡しします。また、継続して薬を使っておられる方には、医師の指示通りに薬が使われているか、その薬の効果が出ているか、副作用は出ているか、他に飲み合わせの悪い薬や食品を使っていないか、などの聞き取り確認もさせていただきます。

誰しも、病気を早く治して健康な生活を送りたいものです。そのために、薬剤師は薬物治療の面でお手伝いをさせていただきます。

薬の種類が多く飲み方もまちまちで、薬剤師がみても、これだけの薬の服用を続けるのは易しいことではない、と感じる場合もしばしばあります。そのような患者さんに「これだけの薬を管理して使っていくのは大変でしょう？」と聞いてみたところ、「いいえ。自分の体のことですから、ちゃんとやって当然。きちんと使っていますよ」というお答えももらったことがあります。そのとき、ハツとしました。そうですね。その通りです。当たり前のことではありませんが、何と心掛けの立派な患者さんでしょう。

積極的に薬物治療に参加して、自分の意思で病気を治していこうとすることは、コンプライアンスではなく、アドヒアランスという言葉で評

価します。ただ、漫然と薬を服用するのではなく、病気を治すチームに患者さんも参加すると考えてください。そのためには、ご自分が使っている薬をしっかり理解していただくことも大事です。

最近の患者さんには、アドヒアランスが良好な方も増えてきました。このような患者さんは、賢い患者さんといえるでしょう。

そして、私たち薬剤師の目指すものも、アドヒアランスです。薬を服用されておられる方は、この薬の名前は？ 用法は？ 効能は？ どんな副作用があるの？ どんなことに気を付けたらいいの？ など、自分の使用している薬について、しっかり理解してください。

薬に関して疑問があるときは、お近くの薬局・薬剤師にお気軽に相談ください。また、飲みづらい、使いにくいなどのご相談にも、どんどんお応えしていきます。